

TOTO

クリーンドライ(高速埋込タイプ)

TYC310型



製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。製品にはお客様用として、取扱説明書(保証書付)が同梱されています。工事完了後は必ず付属の保証書に、店名及びお取付日等を記入してお客様へお渡しください。

1 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)




取付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。



●この説明書では製品を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。





●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性または物的損害を生じる可能性があることを示しています。

 禁止
 分解禁止
 水場使用禁止
 必ず実行
 アースを接続せよ

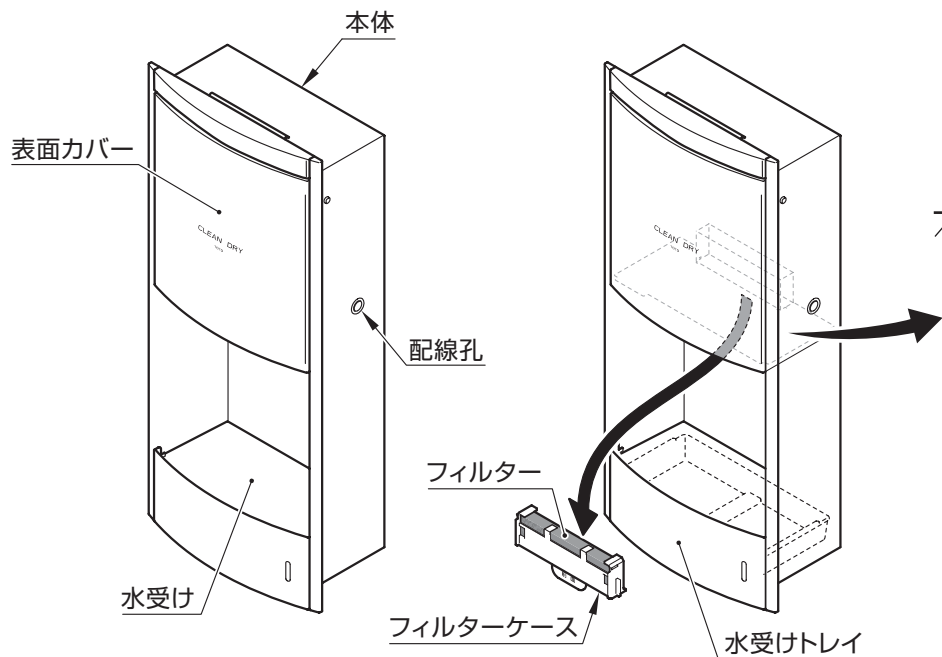
 警告	
 必ず実行	電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う不確実な接続をすると、端子が発火し火災のおそれがあります。
	電源には漏電遮断器を取付ける 故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。
	電源コードは、定格仕様のもを使用し確実に接続する 接続が不十分だと火災のおそれがあります。
 アースを接続せよ	必ずD種接地工事を行う アース線は本体のアース端子に接続する 感電するおそれがあります。

 注意	
 禁止	固定枠の固定を確実に 本体が外れけがをしたり、破損するおそれがあります。

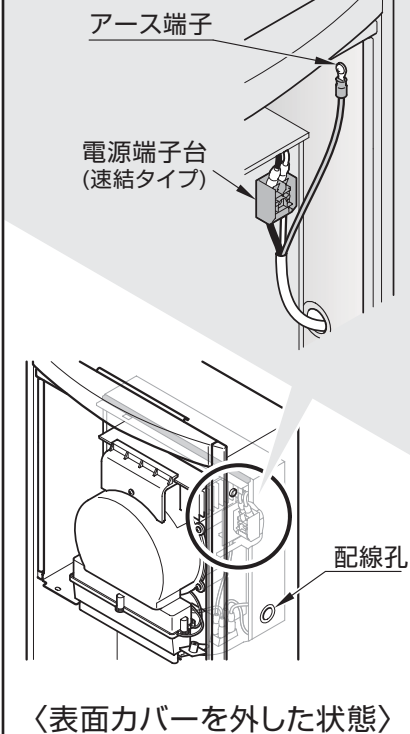
 警告	
 禁止	腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中には取付けない 製品内部の機器が故障し、誤動作するおそれがあります。
 分解禁止	絶対に分解したり修理・改造は行わない 感電、火災、けが、故障のおそれがあります。
 水場使用禁止	屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所には取付けない 漏電して、感電、火災または故障のおそれがあります。

2 部品の確認および各部のなまえ

クリーンドライ本体



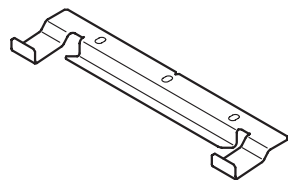
本体部



付属品

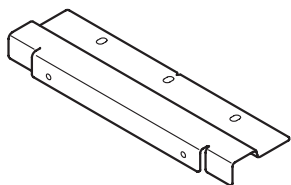
※品番は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

取付金具(上)



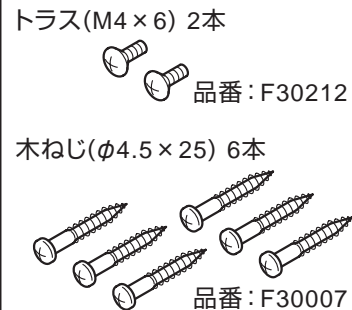
品番：F28001

取付金具(下)

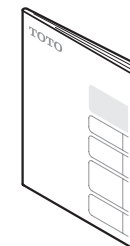


品番：F28010

取付ねじ

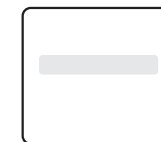


取扱説明書(保証書付)



品番：F06274R

使用方法ラベル



品番：F05878R

3 施工方法

この施工方法はあくまで新設の場合を基準に作成しております。

3-1 施工前の注意

警告

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う不確実な接続をすると、端子が発火し、火災のおそれがあります。

電源には漏電遮断器を取付ける
故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。

必ずD種接地工事を行う
アース線は本体のアース端子に接続する
感電するおそれがあります。

■ 定格以上の過電流遮断機を単独で設置し、指定の電源を印加してください。

	TYC310型
過電流遮断機	定格15A以上
電 源	单相100V±10%
備 考	200V印加すると故障する

3-2 電源線の施工方法

1 スwitchボックスの埋込みと配線

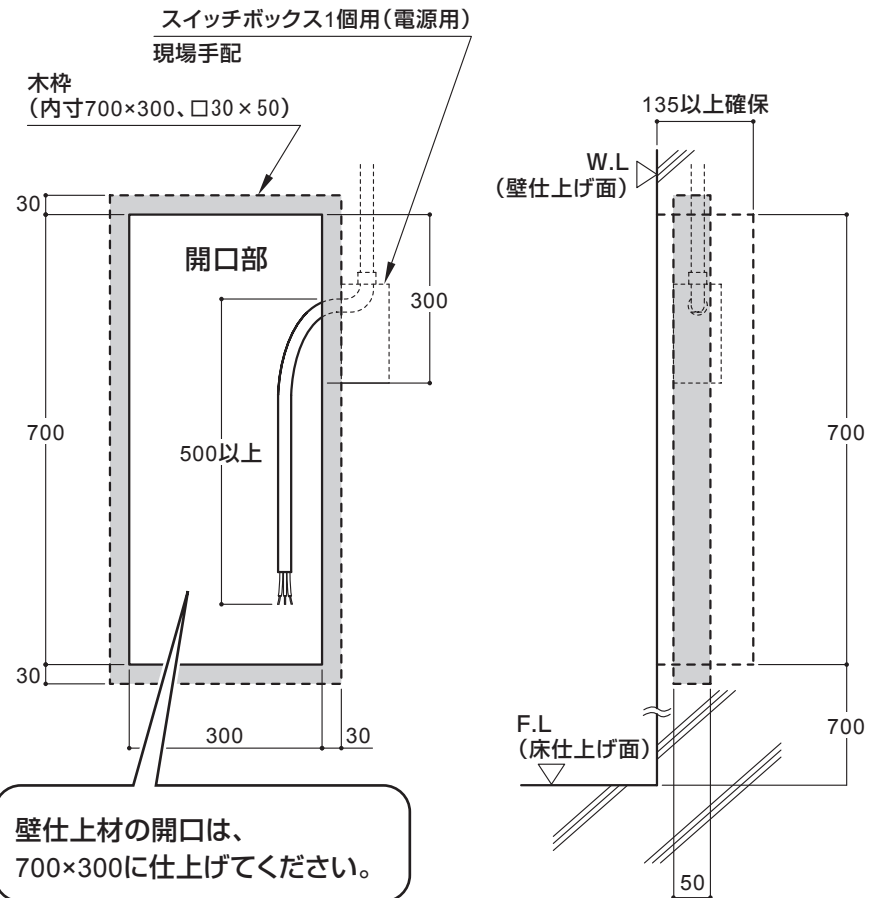
- ・ スwitchボックス(JIS C 8340)を壁面に埋込み、電源線とアース線(いずれも600Vビニル絶縁電線、またはVVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線)を配線します。
- ※ 600Vビニル絶縁電線(より線)の場合、電源端子台(速結タイプ)への接続には、絶縁被覆付圧着端子(松下電工製WV2502)をご使用ください。また、電源線リードの長さは500mm以上とっておいてください。
- ・ スwitchボックスの取付位置は、「2 固定枠の位置決め」を参照してください。

2 固定枠の位置決め

注意

既設壁へ取付けの際、□30×50の木枠使用の場合、H760×W360×D135プラスα(スitchボックス等)の壁はつりが必要

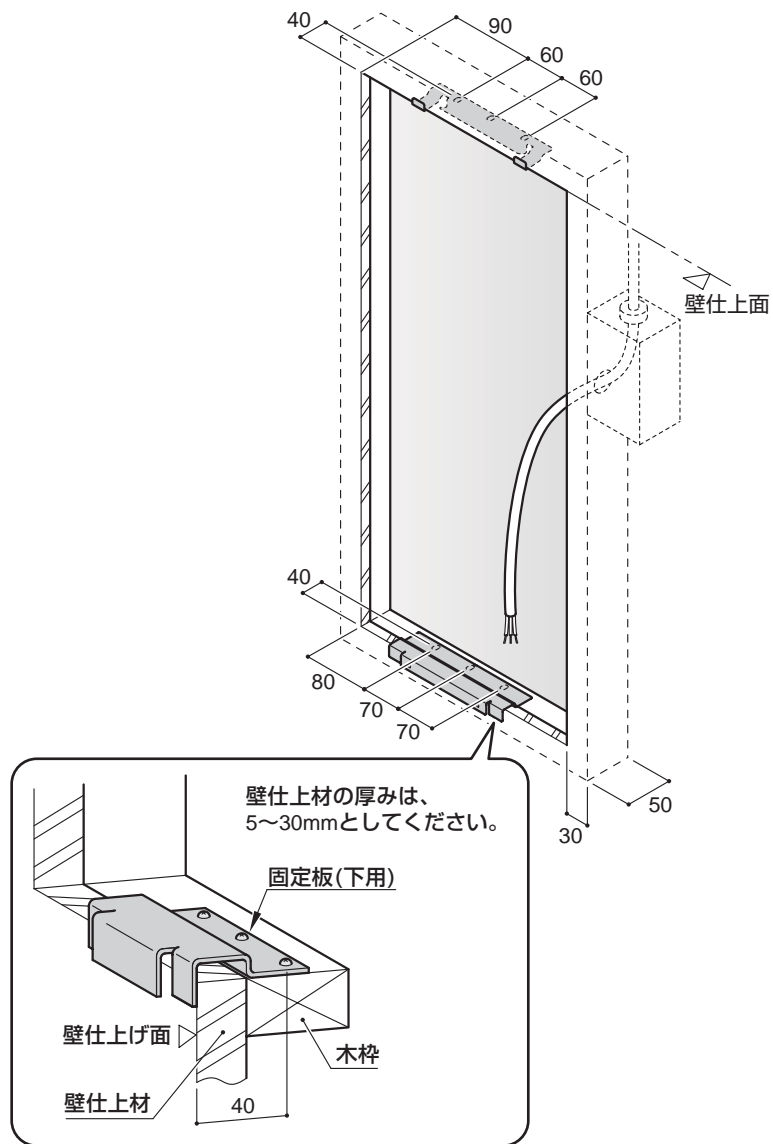
- ・ 木枠(別売品、品番:TYC501型、内寸700×300、□30×50)を壁の下図の位置に固定します。



※奥方向へは埋込代を135以上確保ください。

3 取付金具の取付け

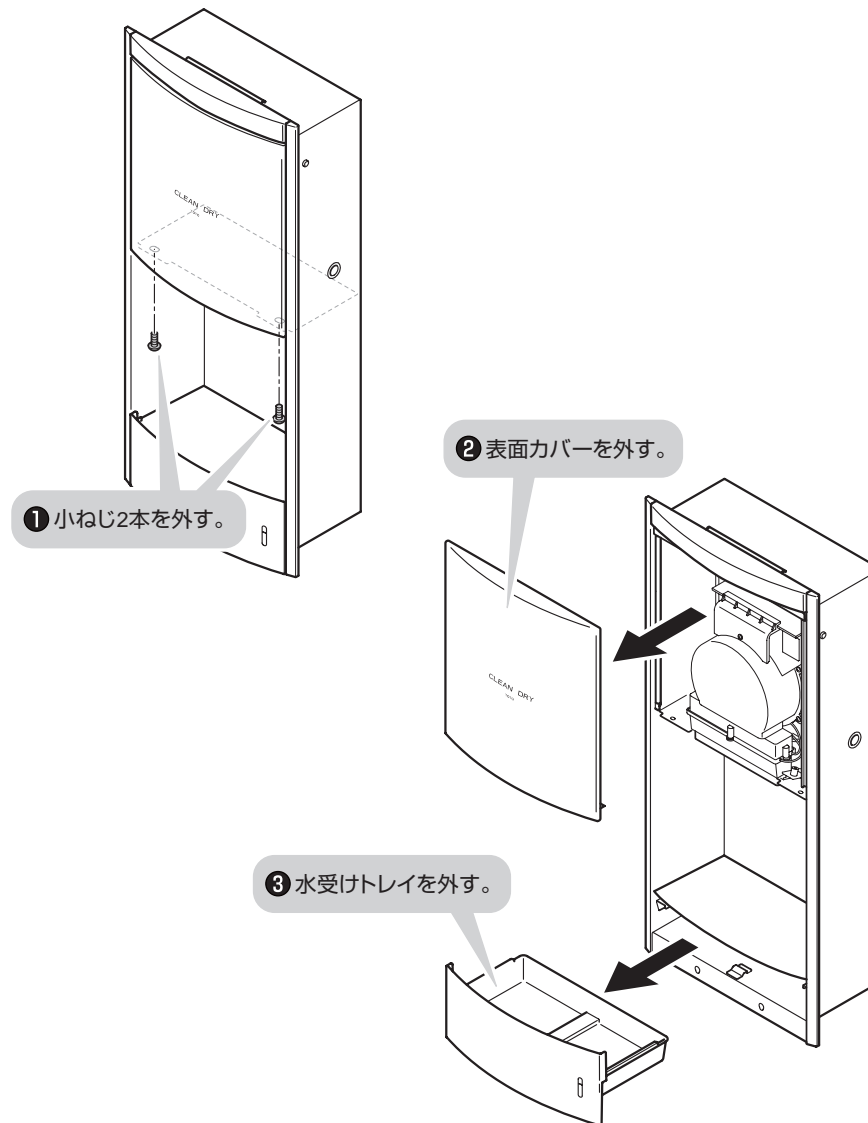
- 木枠の上辺及び下辺の右図の位置をけがき、固定板用の下穴(φ3.5、深さ25以上)を開け、同梱の取付金具(上及び下用)を木ねじで止めます。



4 電線の引込み

⚠ 注意 必ず電源スイッチを「切」にして、ケースカバーを外す感電するおそれがあります。

- ① クリーンドライの表面カバー・水受けトレイを外します。

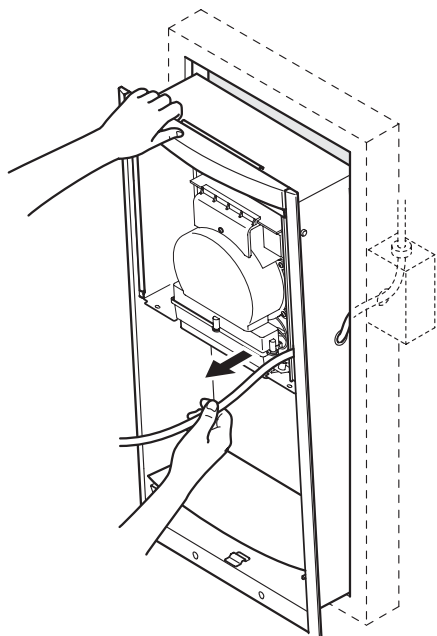


4 電線の引込み(つづき)

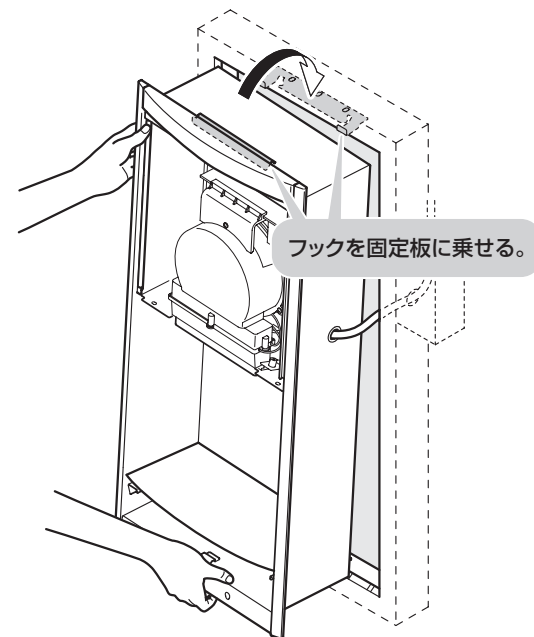
- ② 本体を開口の下辺部に仮置きし、電源及びアース線の先端に結んだ細いヒモを右側面にある配線孔に通します。



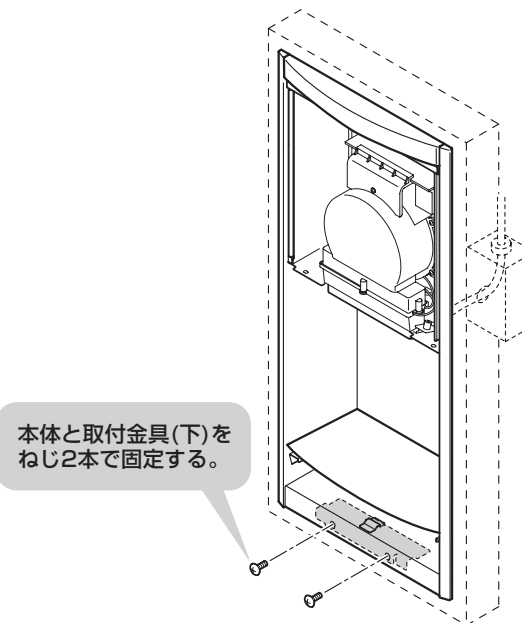
- ③ 電源及びアース線を引き込みます。



- ④ 本体を持ち上げながら、額縁裏にあるフックを取付金具(上)に乗せ仮固定します。



- ⑤ 本体下部の穴(貫通)2ヶ所に同梱のねじ(M4)を通し、本体を取付金具(下)に固定します。



5 電源線の接続について



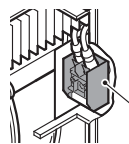
警告

必ずD種接地工事を行う
アース線は本体のアース端子に接続する
感電するおそれがあります。

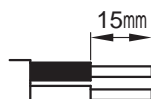


アースを
接続せよ

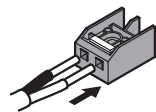
- ・ 本体内に引込んだ、電源線とアース線を電源端子台およびアース端子に接続します。



電源端子台
(速結タイプ)



15mm
皮むきの目安



ぐっと奥まで差込む

悪い例

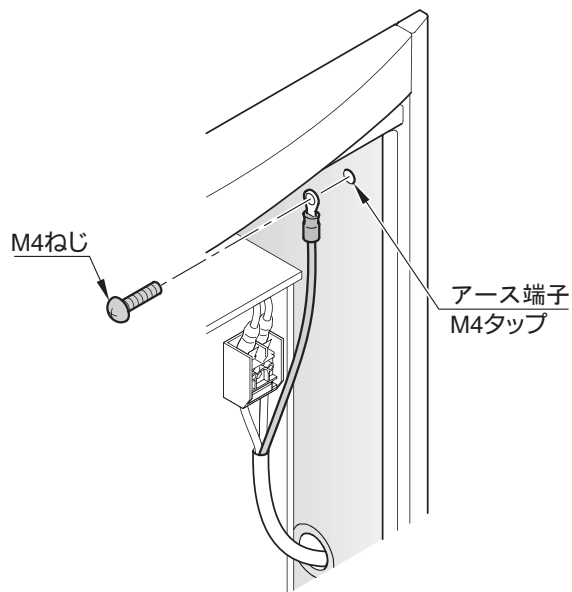
曲がった電線使用



差込不足



差込付近の折れ曲がり

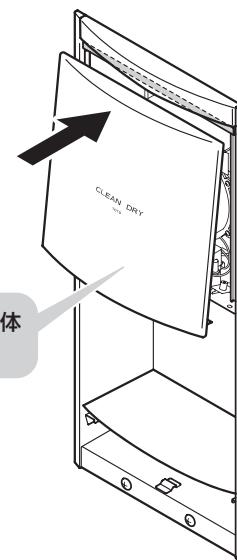


※ 600V電源線にビニル絶縁電線(より線)を使用する場合は、絶縁被覆付圧着端子(松下電工製WV2502)を使用し電源端子台に差込んでください。

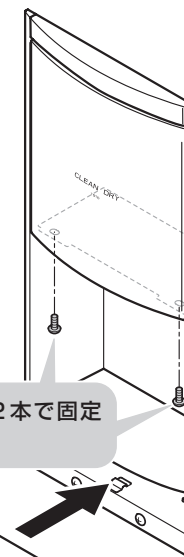
※ アース線は丸型圧着端子(JIS C 2805)を使用し、アース端子に接続してください。

6 表面カバー・水受けトレイの取付け

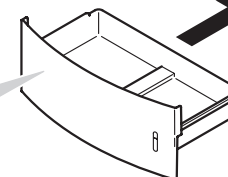
- ・ 表面カバーを本体上の曲げ部(水切部)に乗せて、下の2ヶ所をねじ止めします。
水受けトレイを取付けます。



① 表面カバーを本体
曲げ部に乗せる



② ねじ2本で固定
する

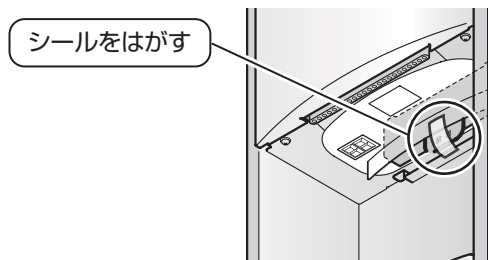


③ 水受けトレイを
取付ける

5 試運転

■ 施工が完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。

- ・はじめに、フィルター部についているシールをはがしてください。
(シールは輸送時のフィルターはずれ防止のもので、破棄ください。)



1. 電源の投入

- ・ 屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。

2. 電源スイッチの確認

- ・ 電源スイッチを入れてください。

3. 動作の確認

- ・ 吹出ノズルの下に手を差し出し、風が吹出すことを確認してください。

4. 風量切替スイッチ、ヒーター入切スイッチの確認

- ・ 風量切替スイッチおよびヒーター入切スイッチを操作し、モードが切替わっているか確認してください。

※ 切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

■ 試運転の後は

- ・ 試運転での動作確認が終了しましたら、同梱の「取扱説明書(保証書付)」をお客様に渡し、製品の使い方について説明してください。